

# 令和5年度下山中学校 学校教育ビジョン

教師の心構え

下山中学校区で目指す子ども像 「地域に誇りをもち、たくましく社会を創造する子ども」

校訓：青空の如く 海のごとく 阿賀の如く  
 教育目標：大きな夢 広い心 やり抜く意志

【学校の使命】  
 予測不能な変化の激しい社会に対応し、  
 よりよく生きられる力を育む

青空の如く

大きな夢

真理を求め、常に努力・挑戦しようとする生徒

海のごとく

広い心

思いやりの心をもって、仲間を大切にする生徒

阿賀の如く

やりぬく意志

困難を乗り越え、最後までやり抜こうとする生徒

【重点目標】

しなやかな強さをもって  
 困難を乗り越える生徒

《鍛え育む資質・能力》

- ①自ら目標をもって挑戦する
- ②思いや考えを表明し具現化する
- ③感情をコントロールする
- ④自他のよさを理解し、よりよい人間関係を築く

心のこもった教育、あたたかい教育



やり抜く力を備えた生徒へ

## 下山のつなぐ教育・つむぐ教育

豊かなかわりを通して  
 困難を乗り越える生徒を育成

自己肯定感の向上

レジリエンスの醸成

自己有用感の獲得

### 実践の3重点（心柱の確立）

#### <学ぶ>真理を追求する

- 「自分の思いや考えを具現化する」②
- 「情報を仲間と共有し、協力して課題解決に取り組む」②③
- 「望ましい学習習慣を確立する」①③

#### <実践事項>

- ◇単元のデザイン力向上と指導と評価の一体化を推進し、教師と生徒が課題を共有した授業を創造する。 B
- ◇ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。 B, D
- ◇課題提示の組織化による家庭学習のサポート B

#### <かかわる>豊かな心で共創する

- 「自分の気持ちや感情を表明する」③
- 「多様な価値観を理解できる」④
- 「協働し、役割を果たすことができる」②④

#### <実践事項>

- ◇事前事後における意義付け、価値付けの場や機会を組織し、認め合いの日常化を図る。 A
- ◇「生き方あり方を考える」道徳の時間の充実を図る。 A, C
- ◇仲間と協働し課題を解決したり、よりよいものを創りあげたりする活動を組織する。 A, B

#### <自律する>自分に克ち挑戦する

- 「自分の弱さに克ち、やり抜く」①③
- 「体力の向上に取り組む」①③
- 「望ましい生活習慣を確立する」①③

#### <実践活動>

- ◇外部機関と連携して、校内外で発信したり評価されたりする機会を創出する。 C, D
- ◇自らの体力状況を把握し、向上する場や機会を組織し、充実させる。 B, D
- ◇生活を省み、よりよく生きる場や機会を創出する。 B, C

B 系統的発展的探究的な活動の組織

C 多様な価値観に触れ、視野を広げる機会の創出

D アウトプット7割への転換

A 支持的風土、心理的安全性が保障される集団・環境づくり

地域との連携・協働

円滑な接続・協働

学校運営協議会制度  
 & 地域と学校P事業の相乗効果

社会に開かれた  
 教育課程の実現

9か年を通した小中一貫教育の推進

誰一人取り残さない特別支援教育の推進

GIGAスクール環境の利活用